

2026年度大学院入試合否判定基準（博士後期課程）

研究科・専攻	合否判定基準
仏教学研究科	（一般） 出願書類（修士論文等）および筆記試験の成績により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。
人文科学研究科・国文学専攻	（一般） 修士論文、修士論文要旨及び研究計画書についての評価結果並びに筆記試験（英語）及び面接試験（口頭試問）の評価結果に基づき、専門分野における高度な知見を基盤に、自ら研究課題を設定し、独創的な研究を継続的に遂行する能力等を総合的に評価した上で、適正かつ公正に合否を判定する。ただし、面接試験（口頭試問）の評価が著しく低い場合は、他の評価結果にかかわらず不合格とする。
人文科学研究科・英米文学専攻	（一般） 出願書類（修士論文等）および筆記試験の成績により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。なお、面接試験（口頭試問）の評価が著しく低い場合は不合格とする。
人文科学研究科・地理学専攻	（一般） 出願書類および筆記試験の成績により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。なお、面接試験（口頭試問）の評価が著しく低い場合は不合格とする。
人文科学研究科・歴史学専攻	（一般） 出願書類（修士論文要旨等）および筆記試験の成績により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。なお、面接試験（口頭試問）の評価が著しく低い場合は不合格とする。
人文科学研究科・社会学専攻	（一般） 出願書類（修士論文要旨等）および筆記試験の成績により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。 （外国人留学生） 出願書類（修士論文要旨等）および筆記試験の成績により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。
人文科学研究科・心理学専攻	（一般） 第1次試験では基礎的学力について、専門科目および英語の筆記試験の総合的な成績に基づき評価を行う。なお、両科目の得点に著しい偏りが認められる場合には、不合格とすることがある。第1次試験の合格者に対しては、第2次試験として、出願書類（修士論文等）を参考に面接試験（口頭試問）を実施して研究遂行能力を確認し、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて、最終的な合否を判定する。
経済学研究科	（一般・外国人留学生） 出願書類（研究計画書等）および筆記試験の成績により、経済学の分野に関する修士課程レベルの専門的知識と研究遂行能力を評価する。さらに、面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。なお、面接試験（口頭試問）の評価が著しく低い場合は不合格とする。 （社会人特別） 出願書類（研究計画書等）および筆記試験の成績により、経済学の分野に関する専門的知識と研究遂行能力を評価する。さらに、面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。なお、面接試験（口頭試問）の評価が著しく低い場合は不合格とする
商学研究科	（一般） 出願書類（修士論文要旨、他大学出身者は修士論文等）および筆記試験の成績により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。なお、面接試験（口頭試問）の評価が著しく低い場合は不合格とする。 （社会人特別） 出願書類（研究計画書および修士論文またはそれに準ずる研究成果等）により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。なお、面接試験（口頭試問）の評価が著しく低い場合は不合格とする。
法学研究科 （公法学専攻・私法学専攻）	（一般・社会人特別・外国人留学生） 出願書類（修士論文またはそれに準ずるもの）および筆記試験の成績により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。なお、出願書類（修士論文またはそれに準ずるもの）および筆記試験の評価、または面接試験（口頭試問）の評価が著しく低い場合は不合格とする。
経営学研究科	（一般） 出願書類（修士論文等）および筆記試験の成績により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。なお、面接試験（口頭試問）の評価が著しく低い場合は不合格とする。
医療健康科学研究科	（一般） 出願書類（研究計画書等）および筆記試験の成績により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。
グローバル・メディア研究科	（一般・社会人特別・外国人留学生） 出願書類（研究計画書等）および筆記試験の成績により、基礎的学力と研究遂行能力を評価する。さらに面接試験（口頭試問）の結果を加え、アドミッション・ポリシーとの適合性を踏まえて総合的に合否を判定する。なお、筆記試験または面接試験（口頭試問）の評価が著しく低い場合は不合格とする。